

番号	事業名	所管部課	評価			改善内容									
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画	
														2018年度	2019年度
2	木曾山崎図書館事業	生涯学習部図書館	要改善	<p>全般に事業担当課では当事業の課題は認識されているが、これら課題に対する具体的な対応策への取組みは「これから」といった印象である。</p> <p>まず、木曾山崎の地域特性と地域ニーズに合った図書館運営に具体的に取り組む必要がある。そして、図書館の役割や市民ニーズが変わっていく中で、これらに対応した図書館サービスの提供や地域の交流の場として機能して欲しい。</p> <p>また、これまでとは違う図書館の未来像を描き、それに向けて誰が何を担うのかを検討すべきである。</p> <p>町田市役所全体、そして市民とともに、図書館が、地域社会の中でどうすれば有効な役割を果たしていけるのかを議論してほしい。</p>	<p>(1) 木曾山崎の地域特性と地域ニーズに合った図書館運営に具体的に取り組む必要がある。</p>	<p>木曾山崎図書館の利用実態に合った図書館サービスを提供する必要がある。 また、木曾山崎図書館の室内環境について、安全性を確保したうえで、利用しやすくする必要がある。</p>	<p>木曾山崎図書館へ利用者が気軽に訪れ、図書館サービスを利用している。</p>	<p>① 木曾山崎図書館の利用が多い高齢者向けのイベントを開催するなど、地域の利用実態に合った図書館サービスを提供する。</p>	<p>① 木曾山崎図書館における高齢者向け事業の実施</p>	① -	① 事業の実施	① 2019年3月	① -	① 事業の実施	① - ※取組は継続実施
					<p>(2) 図書館の役割や市民ニーズが変わっていく中で、これらに対応した図書館サービスを提供する必要がある。</p> <p>また、地域の交流の場として機能するなど、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう町田市役所全体、そして市民とともに、検討する必要がある。</p>	<p>図書館全体として、効率よく貸出・返却ができるよう、インターネットを活用した利用等について効果的に周知を行うとともに、誰でも使いやすいシステムが必要である。</p> <p>2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理計画」及び2018年6月に策定予定の「町田市公共施設再編計画」に基づき、8か所ある図書館のあり方について検討する必要がある。</p> <p>図書館のあり方の検討にあたっては、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう、果たすべき機能やサービスエリアなどを見直す必要がある。</p>	<p>市民ニーズに合った図書館サービスが提供されている。</p>	<p>① インターネット予約の使い方を記載したパンフレットをわかりやすくなるように見直すとともに、ホームページ等で周知する。併せて予約した図書の貸出・返却場所を周知する。</p>	<p>① 利用者向け「図書館システムの利用方（パンフレット）」の改訂及びホームページでの周知</p>	① -	① 改訂及び周知	① 2019年3月	① -	① 利用者向け「図書館システムの利用方（パンフレット）」の改訂及びホームページでの周知	① -
					<p>(2) 図書館の役割や市民ニーズが変わっていく中で、これらに対応した図書館サービスを提供する必要がある。</p> <p>また、地域の交流の場として機能するなど、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう町田市役所全体、そして市民とともに、検討する必要がある。</p>	<p>図書館全体として、効率よく貸出・返却ができるよう、インターネットを活用した利用等について効果的に周知を行うとともに、誰でも使いやすいシステムが必要である。</p> <p>2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理計画」及び2018年6月に策定予定の「町田市公共施設再編計画」に基づき、8か所ある図書館のあり方について検討する必要がある。</p> <p>図書館のあり方の検討にあたっては、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう、果たすべき機能やサービスエリアなどを見直す必要がある。</p>	<p>市民ニーズに合った図書館サービスが提供されている。</p>	<p>② 木曾山崎図書館を含めた図書館について、サービス内容やサービスエリアなどを再検証する。また、地域交流の場など、まちづくりの観点で図書館の果たす役割を改めて整理する。これらを踏まえ、図書館のあり方を検討し、方針を策定する。</p>	<p>② 図書館のあり方の検討・方針の策定</p>	② -	② 方針の策定	② 2019年3月	② 市民意識調査及び他自治体調査の実施・分析	② 検討・方針の策定	② 実施準備
					<p>(2) 図書館の役割や市民ニーズが変わっていく中で、これらに対応した図書館サービスを提供する必要がある。</p> <p>また、地域の交流の場として機能するなど、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう町田市役所全体、そして市民とともに、検討する必要がある。</p>	<p>図書館全体として、効率よく貸出・返却ができるよう、インターネットを活用した利用等について効果的に周知を行うとともに、誰でも使いやすいシステムが必要である。</p> <p>2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理計画」及び2018年6月に策定予定の「町田市公共施設再編計画」に基づき、8か所ある図書館のあり方について検討する必要がある。</p> <p>図書館のあり方の検討にあたっては、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう、果たすべき機能やサービスエリアなどを見直す必要がある。</p>	<p>市民ニーズに合った図書館サービスが提供されている。</p>	<p>③ 予約図書の受渡しサービスの新たな手法や場所を検討し、方針を策定する。</p>	<p>③ 予約図書の受渡しサービスの新たな手法や場所の検討・方針の策定</p>	③ -	③ 方針の策定	③ 2020年3月	③ -	③ 新たな予約図書の受渡しサービスの調査・分析	③ 新たな予約図書の受渡しサービスの検討・方針の策定
					<p>(2) 図書館の役割や市民ニーズが変わっていく中で、これらに対応した図書館サービスを提供する必要がある。</p> <p>また、地域の交流の場として機能するなど、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう町田市役所全体、そして市民とともに、検討する必要がある。</p>	<p>図書館全体として、効率よく貸出・返却ができるよう、インターネットを活用した利用等について効果的に周知を行うとともに、誰でも使いやすいシステムが必要である。</p> <p>2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理計画」及び2018年6月に策定予定の「町田市公共施設再編計画」に基づき、8か所ある図書館のあり方について検討する必要がある。</p> <p>図書館のあり方の検討にあたっては、図書館が、地域社会の中で有効な役割を果たしていけるよう、果たすべき機能やサービスエリアなどを見直す必要がある。</p>	<p>市民ニーズに合った図書館サービスが提供されている。</p>	<p>④ 既に行っている「まちだ図書館まつり」のほか、図書館において地域交流の場となるイベントを検討し、実施する。</p>	<p>④ 市内各図書館での地域交流イベントの検討・実施</p>	④ -	④ 市内各図書館での地域交流イベントの実施	④ 2019年3月	④ 「まちだ図書館まつり」の開催	④ 市内各図書館でのイベントの検討・実施 ※「まちだ図書館まつり」は継続開催	④ - ※取組は継続実施

番号	事業名	所管部課	評価			改善内容									
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画	
														2018年度	2019年度
2	生涯学習部図書館	生涯学習部図書館	要改善	<p>全般に事業担当課では当事業の課題は認識されているが、これら課題に対する具体的な対応策への取組みは「これから」といった印象である。</p> <p>まず、木曾山崎の地域特性と地域ニーズに合った図書館運営に具体的に取り組む必要がある。</p> <p>そして、図書館の役割や市民ニーズが変わって行く中で、これらに対応した図書館サービス提供や地域の交流の場として機能して欲しい。</p> <p>また、これまでとは違う図書館の未来像を描き、それに向けて誰が何を担うのかを検討すべきである。</p> <p>町田市役所全体、そして市民とともに、図書館が、地域社会の中でどうすれば有効な役割を果たしていけるのかを議論してほしい。</p>	<p>(3) これまでとは違う図書館の姿を描き、それに向けて誰が何を担うのかを検討する必要がある。</p>	<p>図書館の内外で活動するボランティアを支援し、図書館サービスの向上と市民が本に親しむ機会を増やす必要がある。</p> <p>また、民間活力の導入を含めた効率的・効果的な運営を検討する必要がある。</p>	<p>多様な担い手が図書館に関わることで、サービスの向上と、効率的な運営ができています。</p> <p>また、図書館の外でも市民が本に親しむ機会が増えています。</p>	<p>① 図書館の効率的・効果的な管理運営手法について、他自治体の状況等を調査したうえで検討し、方針を策定する。</p>	<p>① 効率的・効果的な図書館の管理運営手法の検討・方針の策定</p>	① —	① 方針の策定	① 2020年3月	① —	① 管理運営手法の事例調査・分析	① 新たな管理運営手法の検討・方針の策定
								<p>② 現在図書館で活動している子ども向け「おはなしボランティア」について、研修内容をより充実させるなど、ボランティアの育成を強化し、子ども向けイベントなどのサービス向上をめざします。</p> <p>また、地域で活動するボランティアを育成し、学校や高齢者施設での読み聞かせなど、本に関連するイベントを実施する際の支援を行い、市民が本に親しむ機会を増やします。</p>	<p>②-ア 図書館で活動しているボランティアの育成の強化</p>	②-ア 図書館の事業であるおはなしボランティアの育成研修の実施	②-ア 強化策の検討・実施	②-ア 2020年3月	②-ア —	②-ア 強化策の検討	②-ア 強化策の実施
								<p>③ 民間事業者と連携したイベントを検討のうえ、開催する。</p>	<p>③ 民間事業者と連携したイベントの開催</p>	③ 一部講演会の民間事業者との共催	③ 民間事業者と連携したイベントの開催	③ 2019年3月	③ 民間事業者と連携したイベントの開催に向けた検討	③ 民間事業者と連携したイベントの開催に向けた検討	③ — ※取組は継続実施